

## マイ・タイムラインを作りましょう!

ハザードマップを確認し、自宅で注意しなければならない災害リスクを把握してください。  
また、どこに避難するかなどの他にも、声かけをしなければいけない人や、遠くにお住まいの家族などいる場合は、その方の状況などを確認してください。  
気象情報や避難情報などが発表された際に、警戒レベルにあわせてどのように行動する必要があるか、事前に整理しておいてください。

## 避難のポイント

- 避難は明るいうちに 夜間の避難は危険です！
  - 雨が強くなる前に避難 テレビや気象庁HPで雨や風が強くなる時間帯を確認
  - 自宅が安全な場合は 自宅に留まる ハザードマップで危険な場所（災害リスク）を確認
- 離れたところにお住まいの家族の行動も確認しておきましょう。

## どこに避難する？

浸水のおそれがあるとき

土砂災害発生のおそれがあるとき

## 誰に声をかける？誰と逃げる？

声をかける人 ▶近所の人や別居の家族など

支援者連絡先 ▶手助けが必要な人は支援者を決めましょう

## 警戒レベルと状況

**警戒レベル1**  
今後気象状況悪化のおそれ

**警戒レベル2**  
気象状況悪化

## 住民が取るべき行動

災害への心構えを高める

自らの避難行動を確認する

## 避難情報等

**早期注意情報（気象台）**  
5日先までに警報級の現象が予想されるときに発表

**大雨・洪水注意報（気象台）**

警戒レベル相当情報  
(気象台)

▼該当する災害リスクにチェックを入れる

 洪水等 

警戒レベル2相当

▶氾濫注意情報

 土砂災害 

## 気象情報

大雨の数日前(早期注意情報の発表) &gt;&gt;&gt; 気象状況が悪化(雨が降り出す等) &gt;&gt;&gt;&gt;&gt;&gt; 雨が強くなる(急激に気象状況が悪化し、いきなり豪雨となることも) &gt;&gt;&gt;&gt;&gt;&gt;&gt; 命の危険を感じるような大雨

●危険度が高まる時間帯 → テレビや気象台HPで「早期注意情報」や「危険度を色分け

した時系列」を確認(気象庁HP:<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

4

ま

で  
に  
必  
ず  
避  
難  
！

## あなたの行動を記入

## 『推奨する行動』を参考に、警戒レベルごとの

## “あなたや家族の行動”を書き出しましょう

## 推奨する行動

- 災害への心構えを高める
  - テレビ・ラジオの天気予報に注意する
  - マイタイムラインを確認
  - 家族の予定を再確認
  - 備蓄品のチェック
  - 避難時の持ち物の準備
- ハザードマップなどで避難行動を確認
  - 安否確認方法の確認
  - 河川の情報に注意
  - 危険地域に住む両親へ連絡
  - 携帯電話を充電

- 高齢者等とその支援者は避難開始
  - 「土砂災害警戒区域内」や「洪水時に早期避難が必要な区域」にお住まいの方は避難開始
  - その他の人も普段の行動を見合わせたり、自主的に避難を開始
- 危険な場所から全員避難完了**

●自宅や近隣の建物で緊急的に安全を確保(少しでも上階に移動する、崖から離れた部屋に移動するなど)

※1 高齢者等以外の人も、必要に応じ、普段の行動を見合わせてください。また、災害リスクの高いところに住んでいる人は、自動的に避難してください。

※2 市が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5「緊急安全確保」は必ず発令されるものではありません。

\* 各種情報は警戒レベルの順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

ペンの種類(水性など)により記入ができないことがありますので、試し書きをしてから記入してください。